

## 令和元年度 百合丘高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

### 1 検証及び評価

#### (1) 中間検証

行動計画について、令和元年10月初旬までに実施状況を確認し、未実施があった場合は、補完措置を講ずる。また、各目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

#### (2) 最終検証及び全体評価

行動計画について、令和2年3月初旬に実施状況を確認するとともに、自己評価を行う。

#### (3) 次年度プログラムの策定

令和元年度不祥事ゼロプログラムの最終検証および全体評価をもとに、次年度の目標設定を行い、令和2年度不祥事ゼロプログラムを策定する。

### 2 実施結果

#### <検証結果（成果と課題）>

時期は多少ずれることがあったが、不祥事ゼロプログラム（別紙）はほぼ計画どおりできた。事故防止会議を開催し、校長による全教職員への面談を、年間を通して実施した。詳細については、次のとおりである。

#### ①法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）

- ・公務外非行の報道や県からの通知等は速やかに事例等を周知し、遵法意識の徹底を図った。
- ・今後も、公私を問わず常に県民から疑惑を招くことがないよう努める。

#### ②セクハラ・わいせつ行為の防止

- ・人権研修等を通して、職員の意識向上を図ることができた。
- ・生徒の様子や変化に細心の注意を払うと共に、良好な人間関係が構築できた。
- ・相談体制の構築については、組織化を行い、令和2年度から実施する。

#### ③体罰、不適切な指導の防止

- ・生徒との信頼関係の構築に努めることで信頼関係を築くことができた。
- ・校内で頻繁に情報交換を図り、適切な指導を行った。
- ・今後も、啓発資料や不祥事防止研修等による意識啓発、注意喚起を実施する。

#### ④成績処理・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

- ・各種マニュアルが整備され、それらに基づく点検が行われ、事故防止の意識が浸透した。
- ・点検の段階では入力ミス等が発見され修正作業をしている。

#### ⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

- ・誤廃棄防止のために定期試験後シュレッダー禁止の期間を設定した。
- ・暗号化フォルダ、個人情報の適正な利用、USBの利用等引き続き徹底する。
- ・パスワードの設定やPCの離席時ロック等、引き続き徹底する。

#### ⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

- ・飲酒運転は絶対しない、させないが浸透した。

#### ⑦会計事務等の適正執行

・私費の適正な徴収・執行については年間を通して指導を行った結果、おおむね適切な執行を行うことができた。

- ・財務事務調査や中間監査などでの指導事項を速やかに職員に周知し会計処理に生かした。
- ・今後も、「私費会計事務処理のてびき」に基づいた会計処理を徹底していく。

#### ⑧入学者選抜に係る事故防止

- ・実施要項、チェックリストの見直しを行い、職員に丁寧に研修を実施した。
- ・マニュアルの確認と相互注意喚起を徹底することにより、事故なく入学者選抜業務を遂行した。

### 3 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題（学校長意見）

入学者選抜においては、事故防止研修・マニュアル研修等厳正に取り組んできた。受検生、在校生や保護者、県民の信頼を損ねることのないよう職員一同が緊張感をもって業務を遂行した。「成績処理等における事故防止」については、綿密な点検作業を確実に実施しているが、必ずミスはあるという前提に立ち、点検については常に慎重に実施する習慣を徹底させ、複数による点検を確実に行っていきたい。また、教育活動の大部分で個人情報を扱っていることの自覚、県民から信頼され得る行動といったことについて、校長として教職員一人ひとりを的確に把握するとともに、再度教職員の自覚を促し、事故の未然防止に努めていきたい。更に、生徒に対しての不適切な指導についても粘り強く教職員を指導する。支援の必要な生徒に対しても支援体制の構築を目指し、県民が安心できる教育環境の提供を行う。